

報道関係者各位

株式会社コンピュータ・ニュース社

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-25-1

TEL 03-3818-2661 FAX 03-3818-3006

本件に関するお問い合わせは下記をお願いします。

BCN総研 北村 憲正

<http://www.computernews.com/>

低価格デジカメ「LV-10」が 3週連続トップシェアを獲得

コンピュータの週刊専門紙である「BCN」(BUSINESSコンピュータニュース)を発行する株式会社コンピュータ・ニュース社は、東名阪のパソコン大手販売会社13社(エイデン、大塚商会、ランド、グッドウィル、コンプ100満ポルト、コンプマート、CSKエレクトロニクス=T・ZONE、上新電機、スタンバイ、ソフマップ、九十九電機、ビックパソコン館、ニノミヤ、ワンダーコーポレーション=50音順)565店舗の日次販売データをデイリーで収集し配信するBCNランキングを公表しています。このデータをもとに、BCNの市場調査部門であるBCN総研ではPCリテール市場の動向分析を行っています。

株式会社コンピュータ・ニュース社(本社:東京都文京区、代表取締役社長 奥田喜久男)の市場調査部門であるBCN総研は、デジカメ市場においてカシオ計算機の低価格デジタルカメラ「LV-10」が3週連続でトップシェアを獲得したことを発表した。1月の月次集計では、人気モデルとなっているソニーの「Cyber-shot」に次ぐ2位であったが、2月の月次集計ではトップになる可能性が高い。

「LV-10」は、2000年11月に発売された実勢価格で1万円を切る低価格デジタルカメラの代表的な機種である。発売後徐々に販売台数を伸ばし、11月第5週(11月27日~12月3日)にソニーの「Cyber-shot」に次いで販売台数シェア2位を獲得、12月第3週(12月18日~24日)に一旦「Cyber-shot」と同率でトップになったが、その後、一進一退を繰り返していた。

それが1月に入り、急速にシェアを伸ばしはじめ、1月第4週(1月22日~28日)にトップに返り咲いた。以降、「Cyber-shot」、富士写真フイルムの「FinePix4500」などの人気モデルを抑え、2月第2週(2月5日~11日)まで3週連続首位をキープしている。1月度の月次集計では、「Cyber-shot」に次ぐ2位であったが、2月度の月次集計ではトップになる可能性が高い。

デジタルカメラ市場では、「LV-10」を筆頭にバンダイの「C@Mail-F38」、NHジャパンホールディングスの「Che-ez! Stik」など、9,000円台で販売されている低価格モデルの人気が高まりはじめています。2月第2週(2月5日~11日)のBCNランキングでは、1万円を切るデジタルカメラが4台もトップ10にランクインしているほどだ。価格帯別販売構成比率(台数)をみても、1万円未満の価格帯は28.7%にまで上昇してきている(図1)。

ショップでは、「すでに高機能のデジタルカメラを持つユーザーが、気軽に使える2台目として購入していく傾向がある」、「子供へのプレゼントとして購入していく人が多い」といったコメントが多い。高機能を求める消費者だけでなく、リーズナブルな価格で購入でき、気軽に撮影できるデジタルカメラに対するニーズが確実に存在している。

今後も低価格モデルに対するニーズは高まるとみられ、消費者ニーズの二極化はさらに鮮明になってくと推測される。

図1 売れ筋モデルのシェア推移（週次）

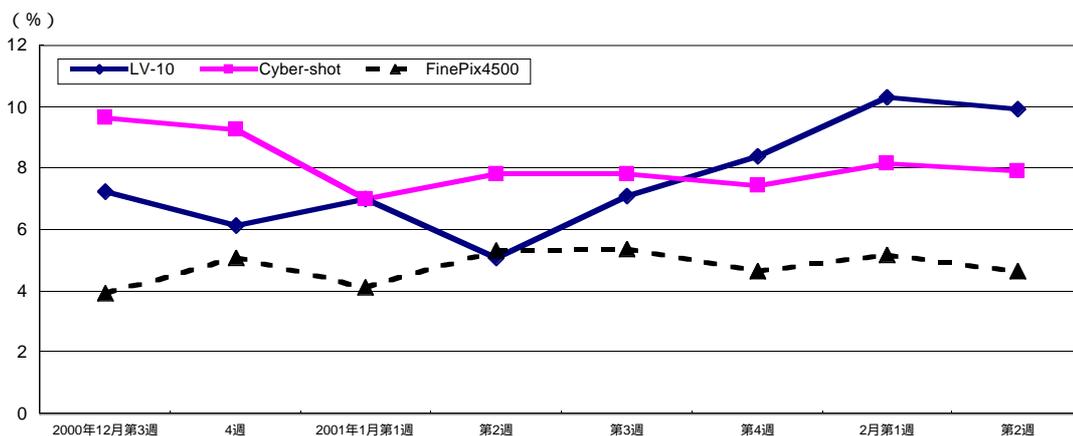


図2 デジタルカメラの価格帯別販売構成比率

